

会 議 録

会 議 名	令和3年度第2回小金井市民交流センター運営協議会		
事 務 局	市民部 コミュニティ文化課		
開 催 日 時	令和3年11月29日(月) 18時30分～20時00分		
開 催 場 所	小金井市役所第二庁舎8階 801会議室		
出 席 委 員	小林真理委員長 村越桂子副委員長 伊東正示委員 亀田奈美子委員 橘田功委員 桑谷哲男委員 小林勉委員 中原和樹委員		
欠 席 委 員	八木原良貴委員		
事 務 局	小金井市 コミュニティ文化課長 河田京子 コミュニティ文化課主任 津端友佳理 コミュニティ文化課主事 小野智広		
オブザーバー	市民交流センター指定管理者 1 野村不動産パートナーズ株式会社 施設管理マネージャー 原田亮 2 サントリーパブリシティサービス株式会社 館長 青木直人 支配人 岡本由紀子		
傍 聴 の 可 否	可		
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由		傍聴者数	0人
会 議 次 第	(1) 前回議事録の報告		

	(2) 令和4年度事業計画について (3) その他
会 議 結 果	下記のとおり
会 議 要 旨	下記のとおり
提 出 資 料	(1) 会議録（前回議事録） (2) 令和4年度小金井市民交流センター事業計画書・収支予算書 (3) 第2次小金井市芸術文化振興計画

1 議題へ入る前に事務局から説明

- (1) 配付資料の確認を行った。
- (2) 本協議会の所掌事項、会議の運営について事務局から説明を行った。

2 前回議事録の報告

事務局から、議事録を確定し、ホームページに掲載したことを報告した。

3 令和4年度事業計画について

冒頭に指定管理者から令和4年度事業計画について説明の後、協議した。

・委員から、アウトリーチ事業はまちかどコンサートの他に増えていくのかという質問

→指定管理者から、学校や福祉施設へのアウトリーチ（インリーチ）事業がコロナ禍で難しい状況であり、デジタル施策を検討していると回答。

→委員から、コロナ収束後に市役所や教育委員会と連携してアウトリーチ事業の充実を図ってほしいという意見。

・委員から、芸術文化公演事業や市民芸術振興事業等はどのような基準で決めているのかという質問。

→指定管理者から、施設の特性或中央線沿線その他施設との差別化を考慮した上で様々な芸術文化に触れてもらえるようなラインナップを用意していると回答。

・委員から、こがねいガラ・コンサートの第九は単発の事業なのか継続する事業な

のかという質問。

→指定管理者から、こがねいガラ・コンサートはインターン生の受入れで次世代育成の場としても機能しながら今後も継続する事業であると回答。

・委員から、大ホールの響きが大変良いので大きなコンクールを招致するのはどうかという意見。

→委員から、良いホールであることを知ってもらえるような事業を今後検討・実施してほしいという意見。

・委員から、毎年良い催しをやっている印象を受けるが、10周年で何か新しさが必要であるという意見。10周年で事業数の増、それを実現するための予算や人員の増はされているのかという質問。

→指定管理者から、事業数は例年月1ペースを基準にしており、10周年でプラス2の15としている。事業数の増で予算や人員の増は必要だが収支の中でやりくりしていると回答。

→委員から、こがねいガラ・コンサートのインターンシップやワークショップに学生に関わってもらえるのも良いのではないかという意見。

・委員から、10周年で10年前の開館時と現在で市民交流センターがどのような役割を担ったかをアンケートで集計し、市民に結果を示すのはどうかという意見。

→委員から、市が担うべきと思うが市民交流センター開設による文化的効果や経済的効果を検証するために調査し、周年史のような文書にまとめてはどうかという意見。

・委員から、市役所で10周年記念の展示をしてはどうかという意見。

→指定管理者から、令和4年3月に「写真で振り返る10周年」という企画をNPO法人アートフル・アクションと連携して実施すると回答。

・委員から、市民交流センターの記録収集や保存は誰が行っているのかという質問。

→指定管理者から、事業担当が事業その他活動を記録し、保管していると回答。

・委員から、世界的な問題である脱炭素についても文化芸術に紐づけて事業に取り入れてほしいという意見。

・委員から、事業が多岐にわたり、子どもからお年寄りまでが交流し楽しめて、10年で市民にとって身近な場所になったという意見。

・委員から、開館10年という比較的新しく、中央線沿線で駅前の立地という利点

を生かして次の10年に繋げてほしいという意見。

→委員から、市民交流センターの存在が10年で市民に浸透し、それを維持しつつさらにチャレンジしてほしいという意見。

→委員から、公演を見に来館するというその日、その時間をどう周辺への動線に繋げていくかを考えることが大切であるという意見。

→委員から、周辺環境の活性化には市民交流センターが担う範囲、商工会が担う範囲などを越えることが必要であるという意見。

・委員から、市民交流センターが新型コロナワクチン接種会場になった経緯と今後について質問。

→事務局から、2回目の接種を推進するため9月下旬から10月末まで市民交流センターの1階を会場とすることが急遽決定したと回答。また、今後については会場としたことで利用者に大変な影響があったと認識したので影響がないように対応したいと回答。

→委員から、接種期間に該当した利用者への補償はどうなるのかという質問。

→事務局から、指定管理者が利用料金を返金し、市が利用者とは指定管理者に損失の補償をすると回答。

・委員から、指定管理者がこきんちゃんグッズを販売しているがこきんちゃんの取扱いはどうなっているのかという質問。

→事務局から、こきんちゃん取扱いは従来と変わらず市企画政策課が所管していると回答。

→指定管理者から、グッズの販売は商工会が調整の窓口となり実現したと回答。

→委員から、10周年でこきんちゃんを活用しても良いのではという意見。

4 その他

・事務局から、第2次芸術文化振興計画が策定・開始し、令和4年度に推進委員会を発足する予定であることを報告。

・委員から、大ホールホワイエにあるモニターの画質が悪いという意見。

→指定管理者から、モニターを写すデジタルサイネージシステムの故障によりモニターへの接続方式を変更しているために画質に影響があると回答。また、システムの更新提案をしているが、実施に至っていないと回答。